

# 福井県における降雪時の避難経路の確保

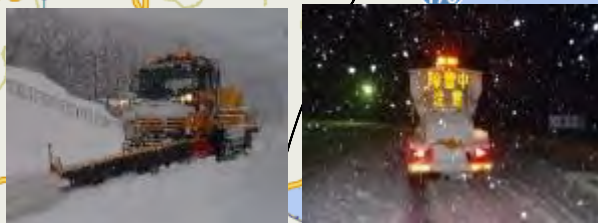
- 福井県は近畿地方整備局や関係機関等との協議を踏まえ、道路雪対策基本計画を定め、短期間の集中降雪による局地的大雪の発生等に柔軟に対応できる体制を整備。
- 福井県は県内外へのアクセス路線となる高速道路ICと主要国道を結ぶ路線や原子力発電所と国道27号を結ぶ幹線道路等を最重点除雪路線と定め、除雪を重点的に実施するとともに、緊急時には民間除雪機械を最大限まで増強し、避難経路の除雪を実施。
- 高速道路及び直轄国道については、国土交通省近畿地方整備局及び高速道路会社(NEXCO)が、除雪体制の強化を図り各関係機関の緊密な連携の下、各機関の除雪計画に基づき、適切な除雪、凍結防止等の対策を行い、冬期間の交通の確保等に努める。



# 京都府における降雪時の避難経路の確保

- 京都府及び関係市町は毎年度除雪計画を定め、住民生活の安定及び経済活動に不可欠な道路をあらかじめ除雪路線にしており、路面上の積雪深が概ね10cmの時には除雪を実施。京都縦貫自動車道等については、京都府道路公社が、雪氷対策要領に基づき、迅速かつ適切な雪氷作業(除雪、凍結防止等の対策)を実施。
- 高速道路及び直轄国道については、国土交通省近畿地方整備局及び高速道路会社(NEXCO)が、除雪体制の強化を図り各関係機関の緊密な連携の下、各機関の除雪計画に基づき、適切な除雪、凍結防止等の対策を行い、冬期間の交通の確保等に努める。

除雪機械(例)



- (凡例) 除雪活動拠点
- 国、NEXCO
  - 京都府
  - 京都府道路公社
  - 関係市町

- 京都縦貫自動車道
- 国道27号
- 舞鶴若狭自動車道

主要な道路について、積雪深概ね10cmを基準に除雪開始



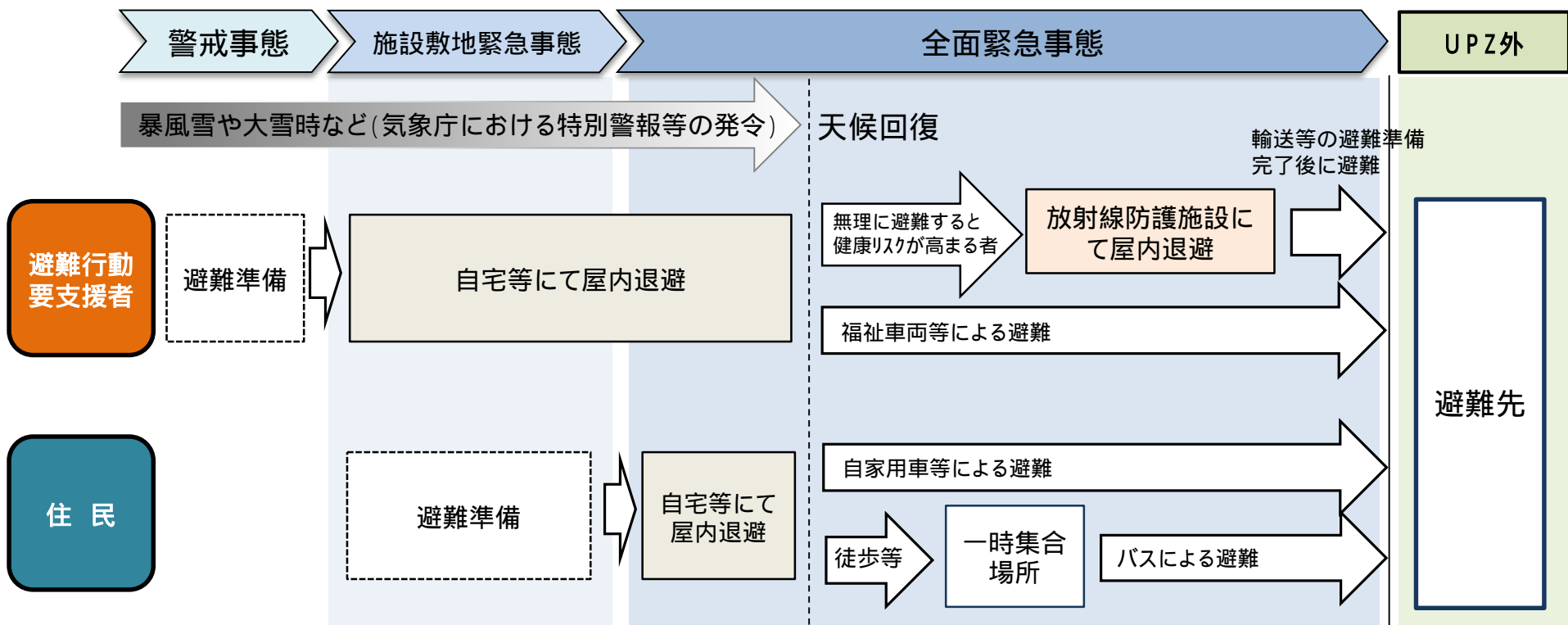
除雪機械の配備台数		平成29年3月時点
国(近畿地方整備局)	京都府内の配備数	22台
京都府		67台
関係市町	舞鶴市、綾部市ほか	83台
京都府道路公社		16台
高速道路会社(NEXCO)	1	56台
民間		217台

1 NEXCO西日本福知山高速道路事務所、京都高速道路事務所の保有台数

# 暴風雪や大雪時などにおけるPAZ内の防護措置

- 暴風雪や大雪時など、気象庁から特別警報等が発令された場合には、外出を控える等の安全確保を優先する必要があるため、PAZ内の避難行動要支援者及び住民は、天候が回復するなど、安全が確保されるまでは、屋内退避を優先。
- その後、天候が回復するなど、安全が確保できた場合には、避難を実施。また、無理に避難すると健康リスクが高まる者は、近傍の放射線防護施設へ屋内退避を実施。
- なお、全面緊急事態となった段階で天候が回復するなどし、避難を実施する際には、国及び関係府県等は、避難経路や避難手段のほか、国が提供する原子力発電所の状況や緊急時モニタリングの結果、気象情報等について、確認・調整等を行う。

## < 全面緊急事態で天候が回復した場合 >



## 5 . PAZ内の全面緊急事態 における対応

### < 対応のポイント >

1. 自家用車による避難ができない住民については、移動手段(バス等)を確保し、避難を開始すること。
2. 避難先施設の受入れ体制を整えること。
3. 安定ヨウ素剤を持っていない者(紛失等)に、緊急配布すること。

本章では、舞鶴市まいづるしの「PAZに準じた避難を行う地域」も含めた対応を記載している。

# 高浜町におけるPAZ内の住民の避難先

- 高浜町の3地区(内浦地区、青郷地区、高浜地区)住民の避難については、福井県内及び県外において避難先を確保。地域コミュニティの確保と行政支援継続の観点から、県内避難を基本とする。
- 3地区における避難先については、平時から避難計画に関する住民説明会やケーブルテレビ放送・訓練等を通じて住民に周知。

PAZ内人口	
内浦地区	686人
青郷地区	2,570人
高浜地区	4,555人
合計	7,811人



敦賀市

避難元	避難先施設
内浦地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>敦賀市立松陵中学校</li> <li>敦賀市立少年自然の家</li> </ul>
青郷地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>敦賀市立看護大学</li> <li>敦賀市立栗野南小学校</li> <li>敦賀市立体育館</li> <li>敦賀市立松原小学校</li> <li>敦賀市立松陵中学校</li> </ul>
高浜地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>敦賀市立中央小学校</li> <li>愛発公民館</li> <li>敦賀気比高等学校</li> <li>昭英高等学校</li> <li>敦賀市立角鹿中学校</li> <li>敦賀市中郷体育館</li> <li>福井県立敦賀工業高校</li> </ul>

< 避難方法 >  
 自家用車  
 バス等の車両による避難  
 船舶、ヘリ等による避難

兵庫県

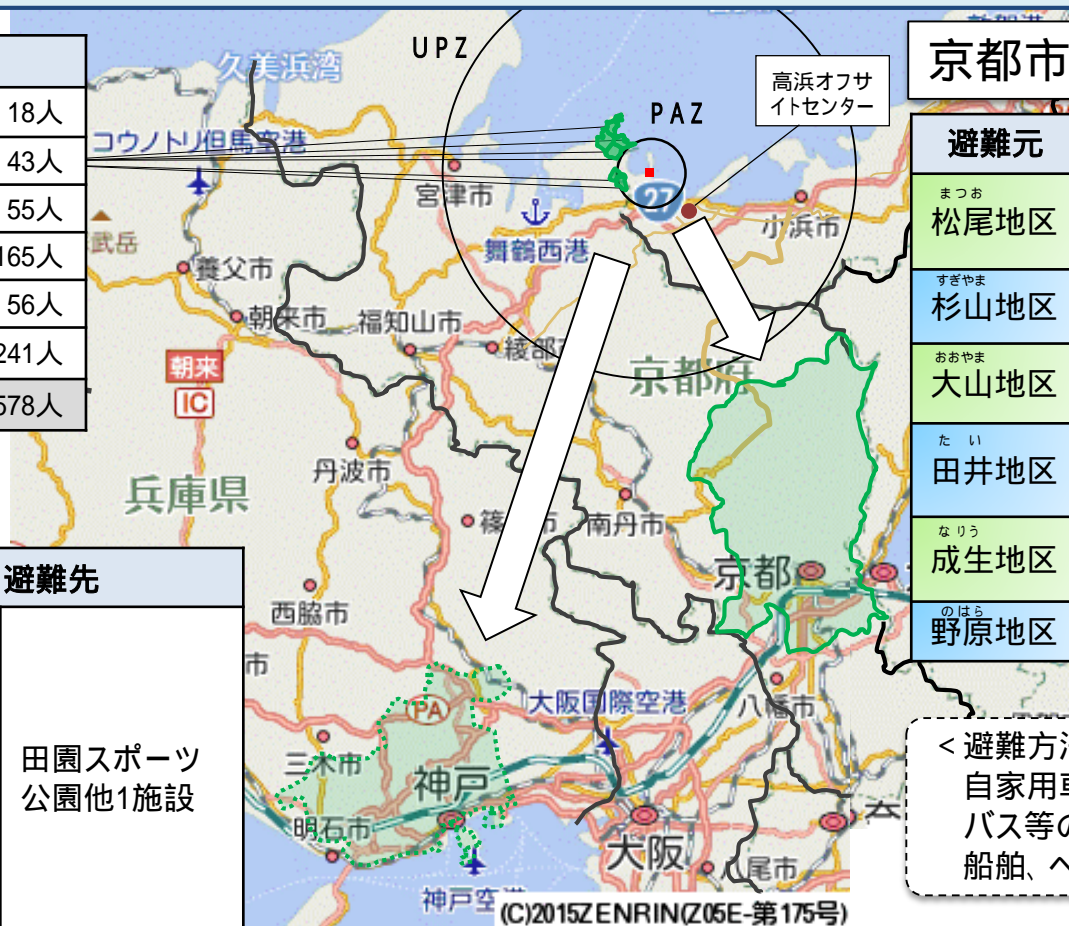
避難元	避難先	
内浦地区	三田市	駒ヶ谷運動公園
青郷地区	宝塚市	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立宝塚高等学校</li> <li>市立逆瀬台小学校</li> <li>西公民館</li> <li>末広体育館</li> <li>県立宝塚西高等学校</li> <li>さらら仁川北公益施設</li> <li>市立末広小学校</li> <li>くらんど人権文化センター</li> </ul>
高浜地区	宝塚市	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立宝塚北高等学校</li> <li>市立老人福祉センター</li> <li>東公民館</li> <li>市立スポーツセンター</li> <li>宝塚総合福祉センター</li> <li>県立宝塚東高等学校</li> <li>ピビアめふ公益施設</li> </ul>
	猪名川町	<ul style="list-style-type: none"> <li>猪名川スポーツセンター</li> <li>生涯学習センター</li> <li>文化体育館</li> </ul>

- 舞鶴市の6地区(松尾地区、杉山地区、大山地区、田井地区、成生地区、野原地区)住民の避難先については、京都府内及び府外(兵庫県)において避難先を確保。いずれかの避難先を決める際には、避難先の準備状況、避難先までの移動距離や時間、道路状況の他、気象庁から提供される気象情報などを考慮する。
- 6地区における避難先については、自治会等の単位で、避難計画に関する住民説明会や訓練等を通じて対象となる住民に周知。

PAZ内人口	
まつお 松尾地区	18人
すぎやま 杉山地区	43人
おおやま 大山地区	55人
たい 田井地区	165人
なりう 成生地区	56人
のほら 野原地区	241人
合計	578人

## 兵庫県

避難元	避難先	
まつお 松尾地区	神戸市	田園スポーツ公園他1施設
すぎやま 杉山地区		
おおやま 大山地区		
たい 田井地区		
なりう 成生地区		
のほら 野原地区		

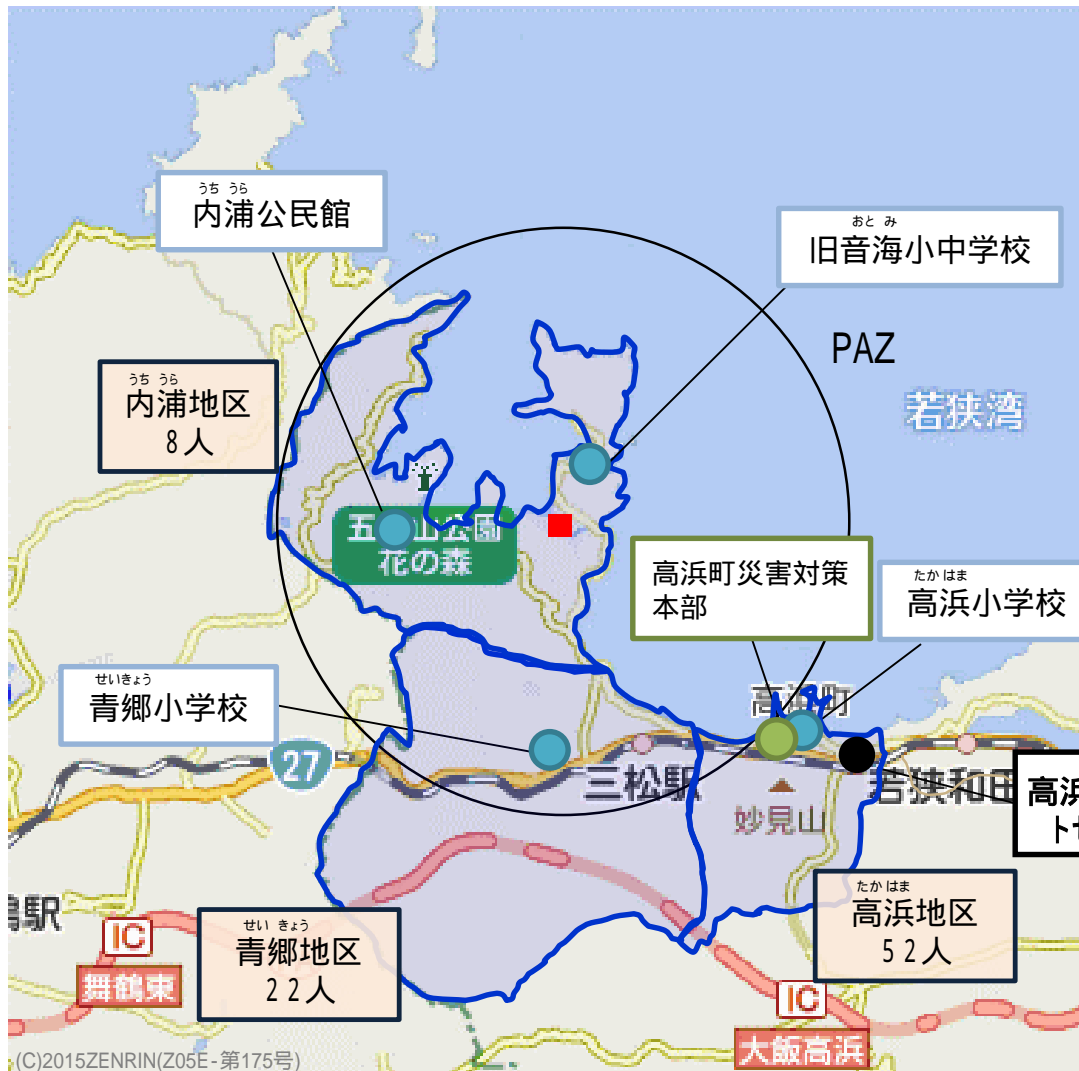


## 京都市

避難元	避難先
まつお 松尾地区	京都市東山区内施設 ・京都市東山青少年活動センター ・東山地域体育館 他10施設
すぎやま 杉山地区	
おおやま 大山地区	
たい 田井地区	
なりう 成生地区	
のほら 野原地区	

< 避難方法 >  
 自家用車  
 バス等の車両による避難  
 船舶、ヘリ等による避難

○ 高浜町によるアンケート調査の結果、高浜町の3地区における自家用車で避難できない住民は全7,811人のうち82人。

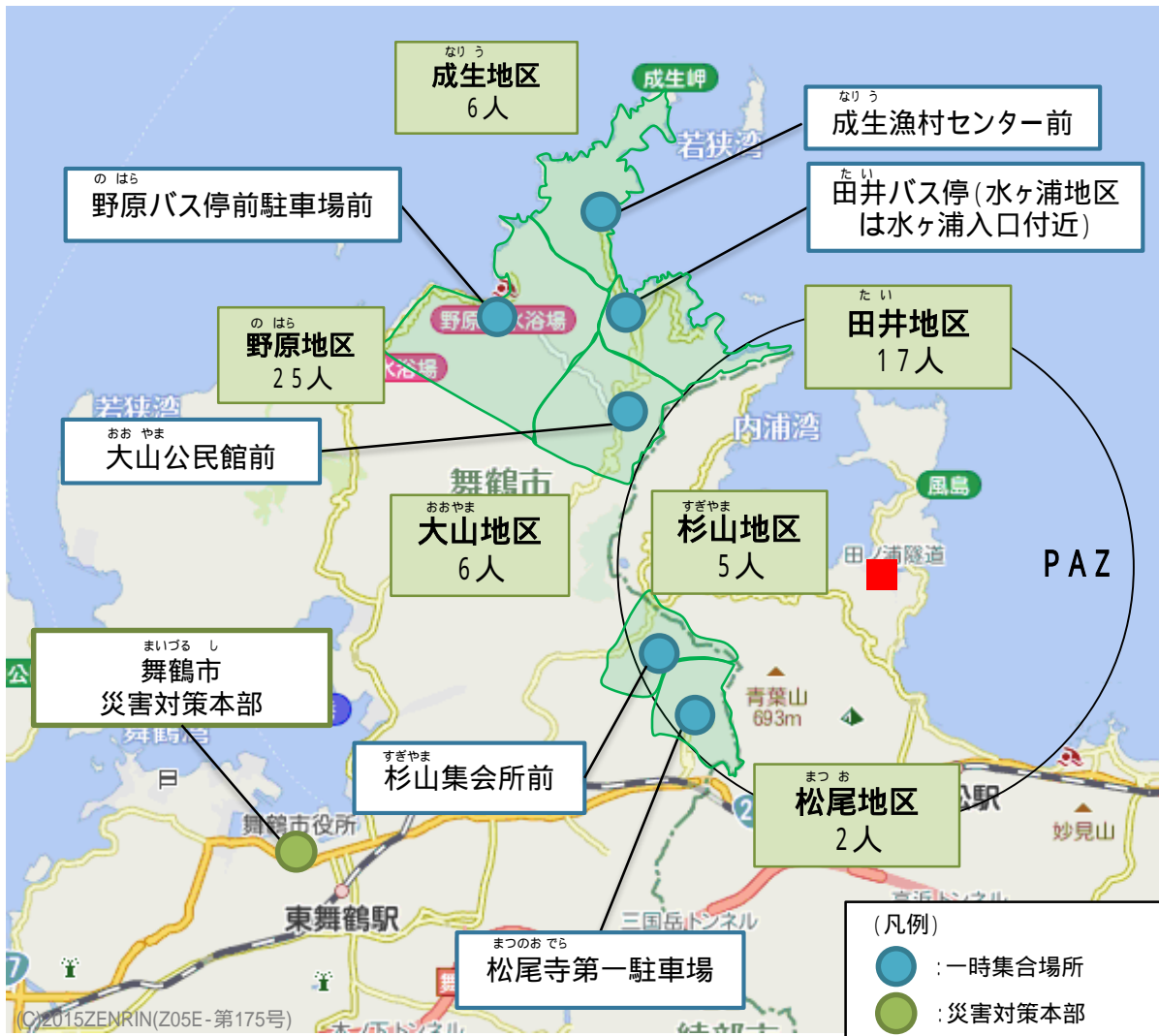


PAZ内地域	人口	うちバス避難者数
内浦地区	686人	8人
青郷地区	2,570人	22人
高浜地区	4,555人	52人
合計	7,811人	82人

人数は平成29年4月1日現在  
高浜町においては、アンケート結果による数値

(凡例)  
● : 一時集合同所  
● : 災害対策本部

○ 舞鶴市による想定では、舞鶴市の6地区における自家用車で避難できない住民は全578人のうち61人。



PAZ内地域	人口	うちバス避難者数
松尾地区	18人	2人
杉山地区	43人	5人
大山地区	55人	6人
田井地区	165人	17人
成生地区	56人	6人
野原地区	241人	25人
合計	578人	61人

人数は平成29年4月1日現在

舞鶴市においては、在宅の避難行動要支援者を除く各地区の人口のうち9割が自家用車で避難すると想定



- たか はま ちょう
- 高浜町において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民約82人分、バス2台。
  - 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
  - 車両及び運転者については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

### < 高浜町において全面緊急事態で必要となる輸送能力 >

	想定対象人数 <sup>1</sup>	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	82人	2台	1台当たり45人程度の乗車を想定 【資料P46】

1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

### < 高浜町において全面緊急事態での輸送能力の確保 >

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		2台	
(B)確保車両台数		計2台	
確保先	バス会社[福井県嶺南地方]	1台	保有車両台数 バス187台
	関西電力	1台	保有車両台数 バス10台

不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

- <sup>まいづるし</sup>舞鶴市において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民61人分、バス6台。
- 全面緊急事態発生時には、<sup>まいづるし</sup>舞鶴市が保有するバスのほか、<sup>まいづるし</sup>舞鶴市内のバス会社が保有する車両、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転者については、京都府バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

< 舞鶴市において全面緊急事態で必要となる輸送能力 >

	想定対象人数 <sup>1</sup>	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	61人	6台	・避難対象となる6地区それぞれにバスを向かわせる想定 ・1台当たり45人程度の乗車を想定 ・全住民の1割が自家用車で避難できないと想定【資料P47】

<sup>1</sup> 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

< 舞鶴市において全面緊急事態で必要となる輸送能力 >

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		6台	
(B) 確保車両台数		計6台	
確保先	<sup>まいづるし</sup> 舞鶴市	3台	保有車両台数 バス3台
	<sup>まいづるし</sup> 舞鶴市内のバス会社	2台	保有車両台数 バス79台(乗合含む) タクシー95台 タクシーを用いた避難が実施できた分必要バス台数は減少
	関西電力	1台	保有車両台数 バス10台